

04j 業務分析・設計のための要件定義技法 実践トレーニング

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	出島交流会館
・講師	富士通九州システムズ(FJQS) 菊川 直之氏
・開催月日	H30年06月13日(水)・14日(木)・15日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

顧客や自社の業務システムのシステム要件定義工程を担当する方。

3. カリキュラムの概要

システム開発の上流工程において、業務要件やシステム要件を定義するために必要な要件定義技法についてグループ演習で体得します。これまで富士通で培ってきた要件定義技法(C-NAP)と同等の手法を学習し、問題発見、影響分析、問題解決の目標設定、問題解決のための実現手段の定義までを実践的な例題を用いてグループ演習を行い、要件定義の本質と実践方法を体得していただきます。

4. カリキュラムの詳細 3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
1.要件定義の意義	1.0	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発における要求定義工程の重要性 ・企画(事業要件の定義)の概要 ・業務要件定義のプロセスと技法 ・業務要件定義プロジェクトの管理
2.業務の分析と業務目標の実現手段の検討	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の分析 ・業務の問題の把握と問題点の分析 ・業務目標の設定 ・業務目標の実現手段の検討
3.問題分析・実現手段検討演習	11.0	<ul style="list-style-type: none"> ・演習1 システム企画内容の確認と問題点カードの作成 ・演習2 販売/配送/仕入/在庫管理業務の問題分析 ・演習3 システム企画方針を受けた業務目標の設定 ・演習4 業務目標の実現手段の検討 ・演習発表・講師講評・評価
4.業務要件の定義とシステム要件の定義	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務要件の定義 ・システム要件の検討方法 ・システム要件の定義
5.要件定義演習	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・演習5 業務要件の定義とシステム要件定義 ・演習発表・講師講評・評価
計	21.0Hr	

5. 使用教材

業務分析・設計のための要件定義技法 実践トレーニング(富士通ラーニングメディア)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. 事業戦略と業務要件の整合性を確認する。
2. 問題解決の技法を適用し、業務要件を定義する。
3. 業務要件を詳細化し、システム要件を定義する。

7. レベル

ITSS:アプリケーションスペシャリスト育成 - [*]メソロジ【レベル: 2 - 3】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名